

防草シート敷設手順

法面

防草効果を最大限に発揮するには敷き方も重要です。



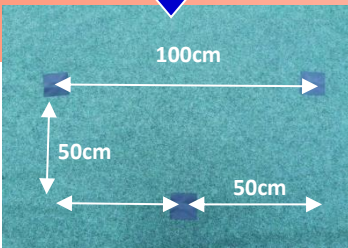
① 施工前に草刈・整地を行う

雑草を刈り払い、浮き石などを取り除き平らにしてください。
状況に応じて、雑木の繁茂している所は根を取り除き平らに整形してください。
※雑木等の切り株が地上部より出ていると、
防草シート敷設時に防草シートに乗った際、突き破る恐れがあります。



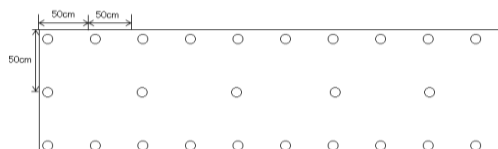
② 防草シートを揚げ設置する(防草シートの重ねは10cm以上)

防草シートは地面に転がした面が表となります。
一度に広げすぎると風に煽られ作業性が悪くなる場合があります。
1. 雨の流れ、風向きを考慮して、シート重ねの上下を決定してください。
2. 重ね部分は10cm以上設けてください。端部にU字溝やコンクリートブロックなどの構造物がある場合にも10cmの重ねを設けてください。

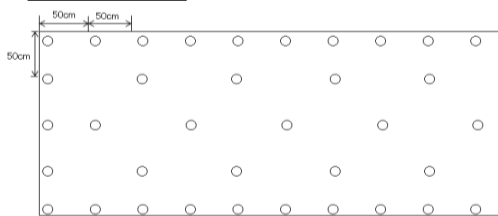


③ 等間隔にマーキングを行い、止めピンで打設する

1.0m幅シートの場合



2.0m幅シートの場合



1. 巻尺などを用い打設標準パターン(左図)を参考にマーキングをしてください。
2. 防草シートの周りや重ね部は50cm間隔、内側は100cm間隔で打設してください。
※防草シートによって打設パターンが異なります。
3. 現場状況に応じて、止めピンの設計変更願います。



④ 粘着テープ※を止めピンの頭部に貼り付ける

※チガヤシート(グリーン)の場合:チガヤテープ

1. 粘着テープ(チガヤシート(グリーン)の場合:チガヤテープ)は□10cmにカットしてご使用ください。
2. ピン周りの砂埃をはらい、ピンの上から貼り付けて下さい。
3. 特に四スミは砂埃がたまりやすいため、四スミから剥がれないようしっかりと押し付けてください。

※施工面が乾燥しているのを確認して施工してください。濡れていると接着不良の原因になります。



⑤ 構造物にはアタッチまたはウレタッチで接着させる

1. 設置部の砂埃はきれいに払ってください。
2. 構造物がある場合は防草シートを10cm重ねて接着させてください。
3. アタッチまたはウレタッチをシートにねじ込ませるように手で押さえてください。
※端部処理後は剥離する可能性がある為、最後の工程とし、作業後は施工面を歩かないようにしてください。施工面が乾燥しているのを確認して施工してください。(濡れていると接着不良の原因になります)



⑥ 完成

止めピンの打設ミスや粘着テープの貼り忘れが無いか確認し、問題が無ければ完成です。